

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎26550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

今年は表年

鎌掛溪ホンシャクナゲ群落の 美しさを満喫

表年となった今年は、たくさんの方のホンシャクナゲが大変美しく咲き誇りました。今年の見頃は、4月29日から5月3日頃となりました。観光期間中には、9,917人の方が来場。淡いピンクのシャクナゲが、溪全体に広がり、「わあ、きれい!」と感激する声がしゃくなげ溪に広がっていました。



▶美しいホンシャクナゲにうっとり

▶青空を泳ぐこいのぼり



『上野田の青空を泳ぐ』こいのぼり
4月中旬から5月中旬にかけて、上野田ひばり野会館横の広場に、9本のこいのぼりがあげられました。

これは、上野田地区有志の方々が結成された『鯉のぼり』をあげよう会の企画によるものです。

最近こいのぼりが泳ぐ姿があまり見られなくなったことから、このような場を作られました。夜にはライトアップもされ、勇壮なこいのぼりの姿を一日中楽しめる場となりました。



▲蒲生氏郷公（銅像）も眺めている

綿向山を愛する気持ち

真心こもった清掃登山

5月18日（日）、「綿向山を愛する会」主催の清掃登山が行われました。この清掃登山は、今回で8回目を迎えます。参加された方々は、ごみ袋を持って、登山道のごみを拾いながら、頂上に到達されました。皆さんのおかげで、きれいな登山道や山全体が守られているのです。

また、西明寺口バス停の登山口には、トイレ（24時間水が流れる「循環常流式水洗トイレ」）が完成しました。綿向山を訪れる皆さんに、より快適な登山を楽しんでいただけるようになりました。



まちのわだい



「日野祭」

800年以上の伝統を継承し催行

湖東地域最大の春祭、「日野祭」が大勢の観光客の見守る中行われました。

2日の宵宮では、夕暮れから曳山が町へ繰り出し、祭りの始まりを盛り上げていました。今年初めての試みとして、本町の曳山が日野まちかど感応館前に留まり、祭囃子を奏でていました。

3日の本祭は、馬見岡綿向神社に集結した12基の曳山が青空と新緑に映え、その姿は大変迫力あるものでした。また、祭囃子と芝田楽の締め太鼓の響きが、伝統ある「日野祭」の空間をより一層引き立てていました。

交流のある会津若松市、松阪市からも市長が来られ、日野の良さを充分に知っていただくことができました。



▶いざ、お旅所(ひばり野)へ



▲今年解体修理を行い、美しい金色に輝く村井の神輿



▲日野まちかど感応館前で
左から、かんげ いちろう菅家一郎会津若松市長、ふじさわ なおひろ藤澤直広日野町長、しもむら たけし下村猛松阪市長



▲びわ湖放送から生中継の取材に！



▲日野椀コーナーの前では、ほっこり
いっぶくできる場も



◀松尾で行われていた「創作人形展」
手作りの作品が並ぶ

棧敷窓アートから続く芸術の道

芸術家たちの作品がまちの中に溶け込む

5月2、3日、8年目を迎えた「棧敷窓アート」が開催されました。地元工芸作家を中心とした作品が、大字大窪から村井にかけて展示販売され、多くの人で賑わっていました。訪れた方は、作家との会話を楽しみながら、作品を楽しんでおられました。

棧敷窓アートから続く本通りを松尾方面へ行くと、五月人形が飾られている家が何軒も連なっていました。また、松尾の本通りから少し入ったところでは、創作人形展も開催されていました。棧敷窓アートからはじまった芸術の道は、今広がりをみせています。